

## アプリケーションカタログ

### 酸類(2)の水分測定[液状酸]

関連業界	:	-
使用装置	:	カールフィッシャー水分計
測定手法	:	容量滴定法 (直接)
関連規格	:	JIS K 0113, ASTM E 203 ISO 760

#### 1. 概要

液状酸類の水分を、JIS K 0113-1992電位差、電流、電量、カールフィッシャー滴定法通則に基づき、容量滴定法で測定する。一般的な液状の酸類は、殆どのがメタノールと2-プロパノール1:1の混合溶剤あるいは市販の脱水溶剤MIに溶けるので測定できる。しかし、カールフィッシャー反応は、pH5～7の範囲で正常に行われるため、試料を注入することによって溶液のpHが下がり、反応速度が遅くなる場合がある。そのような場合は、あらかじめ適切な塩基またはバッファを溶剤に力日えて滴定する。

#### 2. 装置構成

本体 : 容量滴定方式 カールフィッシャー水分計

#### 3. 試薬

滴定液 : コンポジット 2 RdH 櫻  
脱水溶媒 : 脱水溶剤 MI 林純薬製  
          : ハイドラナールーバッファ RdH 社製

#### 4. 測定例

試料名	試料採取量 (g)	溶 剤	水分値	
			mg	%
酢酸	8.264	脱水溶剤 MI + ハイドラナールーバッファ	3.05	0.037
プロピオン酸	5.006	脱水溶剤 MI + ハイドラナールーバッファ	3.89	0.078
硫酸	0.2529	脱水溶剤 MI + ハイドラナールーバッファ	4.39	1.74
メタスホン酸	3.092	脱水溶剤 MI + ハイドラナールーバッファ	10.29	0.33

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>